

春闘宣言（案）

生協職場ではたらくなかまのみなさん

私たちは国民本位の政治を願い、8月の衆議院議員選挙では新しい政権を誕生させました。鳩山首相の動向や国会審議などを連日マスコミが取り上げ、暮らしと政治が結びついてきました。こうした中で行われた「事業仕分け」は、傍聴人が2千人を超え、税金の使い方について一人ひとりが考えるようになりました。自民党政治では全く考えられなかったことです。しかし、軍事費と大企業優遇税制へのメスは入りませんでした。私たちは税金の集め方も監視し、弱者は救済し大企業や富裕層からはしっかり集めるように求めていきましょう。

生協職場ではたらくなかまのみなさん

年越し派遣村から1年が過ぎようとしています。派遣切りが社会問題化され、各地で労働相談や医療相談などの支援がおこなわれました。しかし、不況がつづき、この1年間で雇用契約を打ち切られた労働者は昨年を大きくうわまわり、昨年以上の労働者が寒さの中路上生活を強いられることが予想されます。私たちもできることから支援活動にとりくみましよう。今すぐ労働者派遣法を抜本改正し、最低賃金は全国一律の制度と1000円以上となるようにすべきです。改正労基法にあわせ、残業割増率をアップさせ長時間労働の改善や有給取得率の向上など働くルールを確立と、パート法の2年後の見直しをさせるために世論と運動を大きく展開しましょう。また、弱者に手厚い社会保障制度の確立を求めていきましょう。

生協職場ではたらくなかまのみなさん

この不況の影響で全国のほとんどの生協の経営実態はたいへんきびしい状況です。スーパーや百貨店業界も同様で、消費者のお財布のひもは固く結ばれています。際限のない値下げ競争がつづき生協の事業も困難に陥っています。むしろ、食料品を非課税にするなど購買動向を高めるようなとりくみを生協が消費者の立場にたって、行うべきではないでしょうか。労使の共同で生協の展望と職場の未来をつくりましよう。くらしが困難な時だからこそ賃上げの要求は切実です。労組員の声によりそい、処遇や労働条件の改善、とりわけパートなど非正規労働者の改善を求めていきましょう。また、全国では物流再編や事業所閉鎖により1300人をこえるパートの雇用問題が発生しています。委託や派遣の労働者を含めれば膨大な数になります。説明責任と雇用責任を果たさせるたたかいを全力でおこないましよう。

生協職場ではたらくなかまのみなさん

来年5月アメリカでNPT再検討会議（核不拡散防止条約）が開催され、核兵器廃絶を願う世界中の人々が5月2日ニューヨーク行動に参集します。生協労連からは36人のなかまが、日生協も60人の代表団を送り出します。「地球温暖化ストップ！憲法をくらしにいかし、核兵器も基地もない公正な世界の実現」は世界中の人々の共通の願いです。新政権の三党合意書では「男・女、正規・非正規の均等待遇の実現を図る」ことが盛り込まれ、均等待遇は当り前の要求になっています。8万人の生協労連と、すべての働く人のディーセントワークと、男女共同参画社会の実現にむけ、2010年春闘を意気たかくたたかいましよう。

2009年12月10日 生協労連第89回中央委員会